

2022年10月12日

ミグノン訪問のご報告

新理事・監事とボランティアメンバーは、引き継ぎのため協議の場を設けようと、前代表にコンタクトを重ねてきました。この度、事前連絡の上10/8にミグノンを訪問し、保護動物の状況を確認しました。

3階シェルターには治療中の犬が1頭残るのみで、他は個人宅に預けたとのことでした。

1階サロンには犬3頭、猫11頭、フェレット、にわとりを確認しました。

2階クリニックにも保護動物(治療中の犬猫、あひる)がいると説明を受けましたが、診療時間中のため見ることはかないませんでした。前代表とは10分程度ではありますが話をし、NPOによる3階シェルターの使用や動物たちの引き渡しなどについて、一日も早く改めて協議の場を設けることに双方同意しました。

ボランティアでつくる新体制では、動物のQOLを最優先に譲渡を推進したいと考えています。何年も団体の保護動物として過ごしてきた子たちと、その子を家族に迎えたいと希望する方々を、丁寧につないでいくための準備をしています。その一方で、お問い合わせフォームを受け取れない状況にあり、これについても速やかな引き継ぎを望んでいます。

保護動物の安否について、そして寄付金の件でも、多くの方にご迷惑、ご心配をおかけしておりますことを心よりお詫び申し上げます。調査と協議の積み重ねが続きますが、その都度ご報告させていただきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

特定非営利活動法人(NPO法人)ランコントレ・ミグノン